

2022年7月15日

J A 広島総合病院を受診された患者さまへ

当院では下記の臨床研究を実施しております。本研究の対象者に該当する可能性のある方で診療情報等を研究目的に利用または提供されることを希望されない場合は、下記の問い合わせ先にお問い合わせ下さい。

研究課題名	Endoscopic mini/less open sublay techniqueの安全な導入と継続の取り組み
倫理委員会承認番号	No. 22-31
研究の対象	2021年3月から2022年3月までに当科で腹壁ヘルニア手術を行われた患者様
研究目的・方法	当科では2021年3月に、ヘルニア門横径5cm以下の腹壁ヘルニアに対してEndoscopic mini/less open sublay technique（以下、EMILOS法）を導入しました。EMILOS法を導入した2021年3月から2022年3月までに当科で手術を行った腹壁ヘルニア症例の術式選択と成績を明らかにすることで、安全にEMILOS法を継続するための取り組み、適応拡大について考察、報告します。
研究に用いる 試料・情報の種類	電子カルテで得られる既存の記録とその手術動画、写真
外部への 試料・情報の提供	なし
個人情報の取り扱い	使用した情報から、氏名や住所等の対象者を直接特定できる個人情報は削除いたします。また、研究成果は学会等で発表を予定していますが、その際も対象者を特定できる個人情報は使用いたしません。
利益相反の有無	有 ・ <input checked="" type="radio"/> 無 ()
お問い合わせ先	廿日市市地御前1丁目3番3号 J A 広島総合病院 外科 研究責任者：田崎 達也 TEL：0829-36-3111 / FAX：0829-36-5573
備考	第35回日本内視鏡外科学会総会および第75回広島医学会総会で発表予定です